

安全点検チェックリストのサンプル

資料 3

■実地調査:点検チェックリスト		点検者	(代表者名)	
地下街名		点検日	2013年〇〇月〇〇日	
■地下街概要				
所在地	住所記入			
延べ面積(全体GL~B2) 〇〇(m ²)	合計(B1) 〇〇m ²	店舗(B1) 〇〇m ²	通路(B1) 〇〇m ²	その他(B1) 〇〇m ²
開業年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日			
改修年月日 ※具体的にはヒヤリング 項目4にご記入お願 いします	平成〇〇年〇〇月			
出席者				
地下街 (敬称略)			点検員	
<div style="border: 1px solid black; padding: 20px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>地下街平面図に点検した点検口位置・番号、および撮影方向(天井内写真①番方向)を図示</p> </div>				
<p>凡例</p> <p>1 : 点検箇所番号</p> <p>↑ : (矢印)天井内写真①番方向</p> <p>■ : 点検箇所</p>				
調査箇所数	〇〇箇所			

1. 広場・通路の外観点検




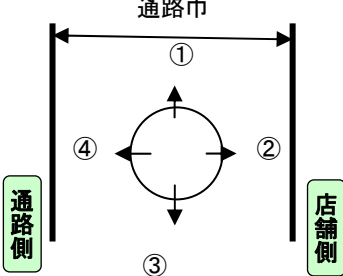
点検場所 ※広場通路番号	天井形態・天井材 ■具体的な仕上を記入(カッコ内事例)	点検口 番号		点検結果
<input type="checkbox"/> 広場※天井 <input checked="" type="checkbox"/> 通路※天井	<input checked="" type="checkbox"/> 在来ボード [*] (石膏ボード、ケイカル板) <input type="checkbox"/> ルーバー (アルミ格子、型材) <input checked="" type="checkbox"/> 金属パネル (アルミ、スチール)	<input checked="" type="checkbox"/> 点検口-1	<input type="checkbox"/> 点検口-6	A:不具合無 B:不具合有
通路巾 6m	<input type="checkbox"/> ガラス (合わせガラス、フィルム貼)	<input type="checkbox"/> 点検口-2	<input type="checkbox"/> 点検口-7	
天井高 3m	<input type="checkbox"/> 直天 (RC 直、吹付け材)	<input type="checkbox"/> 点検口-3	<input type="checkbox"/> 点検口-8	
		<input type="checkbox"/> 点検口-4	<input type="checkbox"/> 点検口-9	
		<input type="checkbox"/> 点検口-5	<input type="checkbox"/> 点検口-10	

外観点検の写真、
または天井内点検を行った点検口まわりの外
観写真。

点検項目		点検結 果	備 考
外観	天井	天井材に破損などの不具合は見つからないか ※点検口廻りの健全性(ズレ、歪み)も確認	Ⓐ・B
		照明、ガラリなど天井設置器具廻りに破損・隙間・ズレ 跡はないか	Ⓐ・B
		シャッターボトム、天井枠周りに錆・凹み・曲がりはないか	Ⓐ・B
		大型サイン、エアーカーテンなど、天井から吊られる設備 吊元に倒れ・曲がり・凹みはないか	A・B
		エキスパンション(EXP.J)カバーに凹み、外れ水漏れ、段 差はないか ※EXP.J がある場合、特に天井との取り合 い外観を確認します	A・B

2. 天井内点検

点検項目			点検結果	備考
天井内目視	吊りボルト	約900mm前後の間隔で躯体からほぼ鉛直に設置されているか ※可能なら計測します	Ⓐ・B	
		設備機器吊り材と緩衝していないか、共吊りになっていないか ※適度な間隔を確認します	Ⓐ・B	
	下地材	野縁は野縁受け(クリップ状況)に、野縁受けは吊りボルトに(ネジ山状況)緊結されているか	Ⓐ・B	
	壁とのクリアランス	天井材端部と周囲の壁に適度なクリアランス(隙間)がある場合、振れ止めが設置されているか	A・B	

① 	② 	⑤ 
④ 	③ 	<p>天井内写真 ⑤ 見上げスラブ</p> <p>通路巾</p> 

天井内目視	シャッター垂れ壁	防火シャッター本体・防煙垂壁は天井躯体へ確実に固定されているか	A・B	
	大型サインなど	大型サイン、エアーカーテン設備の天井内の吊もとは天井躯体へ確実に固定されているか	A・B	
	EXP.J周辺	外観で不具合が確認された場合、天井内のスラブカバー廻りに水漏れ、白華などの現象がないか	A・B	
	躯体の状況	スラブ躯体、壁面躯体に顕著なクラック、ジャンカ、研りはないか ※吊りボルト廻りの躯体も確認	Ⓐ・B	
設備類	電気	バスダクト、ケーブルラックが躯体から吊りボルトで確実に取り付けられているか	Ⓐ・B	
	機械	ダクト、ファンコイル、送風機が躯体から吊りボルトで確実に取り付けられているか	Ⓐ・B	

1. 広場・通路の外観点検






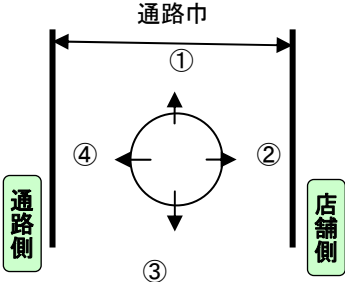
点検場所 ※広場通路番号	天井形態・天井材 ■ 具体的な仕上を記入(カッコ内事例)	点検口 番号		点検結果
<input type="checkbox"/> 広場※天井 <input checked="" type="checkbox"/> 通路※天井	<input checked="" type="checkbox"/> 在来ボード [*] (石膏ボード、ケイカル板) <input type="checkbox"/> ルーバー (アルミ格子、型材) <input checked="" type="checkbox"/> 金属パネル (アルミ、スチール)	<input type="checkbox"/> 点検口-1	<input type="checkbox"/> 点検口-6	A: 不具合無 B: 不具合有
通路巾 6m	<input type="checkbox"/> ガラス (合わせガラス、フィルム貼)	<input checked="" type="checkbox"/> 点検口-2	<input type="checkbox"/> 点検口-7	
天井高 3m	<input type="checkbox"/> 直天 (RC 直、吹付け材)	<input type="checkbox"/> 点検口-3	<input type="checkbox"/> 点検口-8	
		<input type="checkbox"/> 点検口-4	<input type="checkbox"/> 点検口-9	
		<input type="checkbox"/> 点検口-5	<input type="checkbox"/> 点検口-10	

外観点検の写真、
または天井内点検を行った点検口まわりの外
観写真。

点検項目		点検結 果	備 考
外観	天井	天井材に破損などの不具合は見つからないか ※点検口廻りの健全性(ズレ、歪み)も確認	(A)・B
		照明、ガラリなど天井設置器具廻りに破損・隙間・ズレ 跡はないか	(A)・B
		シャッターボトム、天井枠周りに錆・凹み・曲がりはないか	(A)・B
		大型サイン、エアーカーテンなど、天井から吊られる設備 吊元に倒れ・曲がり・凹みはないか	(A)・B
		エキスパンション(EXP.J)カバーに凹み、外れ水漏れ、段 差はないか ※EXP.J がある場合、特に天井との取り合 い外観を確認します	A・B

2. 天井内点検

点検項目			点検結果	備考
天井内目視	吊りボルト	約900mm前後の間隔で躯体からほぼ鉛直に設置されているか ※可能なら計測します	Ⓐ・B	
		設備機器吊り材と緩衝していないか、共吊りになっていないか ※適度な間隔を確認します	Ⓐ・B	
	下地材	野縁は野縁受け(クリップ状況)に、野縁受けは吊りボルトに(ネジ山状況)緊結されているか	A・Ⓑ	写真; p.12 ■点検項目(その他) 写真-1 溶接による吊りボルトとアングルの取り付けは劣化等で強度不足になり易い
	壁とのクリアランス	天井材端部と周囲の壁に適度なクリアランス(隙間)がある場合、振れ止めが設置されているか	A・B	

①	②	⑤
		
④	③	天井内写真 ⑤ 見上げスラブ
		<p style="text-align: center;">通路巾</p> 

天井内目視	シャッター垂れ壁	防火シャッター本体・防煙垂壁は天井躯体へ確実に固定されているか	A・B	
	大型サインなど	大型サイン、エアーカーテン設備の天井内の吊もとは天井躯体へ確実に固定されているか	A・B	
	EXP.J周辺	外観で不具合が確認された場合、天井内のスラブカバー廻りに水漏れ、白華などの現象がないか	A・B	
	躯体の状況	スラブ躯体、壁面躯体に顕著なクラック、ジャンカ、研りはないか ※吊りボルト廻りの躯体も確認	Ⓐ・B	
設備類	電気	バスダクト、ケーブルラックが躯体から吊りボルトで確実に取り付けられているか	Ⓐ・B	
	機械	ダクト、ファンコイル、送風機が躯体から吊りボルトで確実に取り付けられているか	Ⓐ・B	





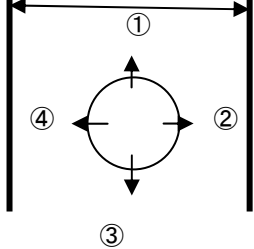
1. 広場・通路の外観点検

点検場所 ※広場通路番号	天井形態・天井材 ■ 具体的な仕上を記入(カッコ内事例)	点検口 番号		点検結果
■ 広場※天井 □ 通路※天井	<input checked="" type="checkbox"/> 在来ボード [*] (石膏ボード、ケイカル板) <input type="checkbox"/> ルーバー (アルミ格子、型材) <input checked="" type="checkbox"/> 金属パネル (アルミ、スチール)	□ 点検口-1 □ 点検口-2 ■ 点検口-3 □ 点検口-4 □ 点検口-5	□ 点検口-6 □ 点検口-7 □ 点検口-8 □ 点検口-9 □ 点検口-10	A: 不具合無 B: 不具合有
通路巾 14m	<input type="checkbox"/> ガラス (合わせガラス、フィルム貼)	□ 点検口-4	□ 点検口-9	
天井高 3m	<input type="checkbox"/> 直天 (RC 直、吹付け材)	□ 点検口-5	□ 点検口-10	

外観点検の写真、
または天井内点検を行った点検口まわりの外
観写真。

点検項目		点検結果	備考	
外観	天井	天井材に破損などの不具合は見つからないか ※点検口廻りの健全性(ズレ、歪み)も確認	Ⓐ・B	
		照明、ガラリなど天井設置器具廻りに破損・隙間・ズレ跡はないか	Ⓐ・B	
		シャッターボトム、天井枠周りに錆・凹み・曲がりはないか	Ⓐ・B	
		大型サイン、エアーカーテンなど、天井から吊られる設備吊元に倒れ・曲がり・凹みはないか	A・B	
		エキスパンション(EXP.J)カバーに凹み、外れ水漏れ、段差はないか ※EXP.Jがある場合、特に天井との取り合い外観を確認します	A・B	

2. 天井内点検

点検項目			点検結果	備考	
天井内 目視	吊り ボルト	約 900 mm 前後の間隔で躯体からほぼ鉛直に設置されているか ※可能なら計測します	A・ Ⓐ	写真④ 鉛直に設置されていない。(また緊結されていない。)	
		設備機器吊り材と緩衝していないか、共吊りになっていないか ※適度な間隔を確認します	Ⓐ ・B		
	下地材	野縁は野縁受け(クリップ状況)に、野縁受けは吊りボルトに(ネジ山状況)緊結されているか	A・ Ⓐ	写真② 野縁受けが吊りボルトに緊結されていない。	
	壁とのクリアランス	天井材端部と周囲の壁に適度なクリアランス(隙間)がある場合、振れ止めが設置されているか	A・B		
①		②		⑤	
					
④		③		天井内写真 ⑤ 見上げスラブ 通路巾	
					
天井内 目視	シャッター 垂れ壁	防火シャッター本体・防煙垂壁は天井躯体へ確実に固定されているか	Ⓐ ・B		
	大型サイン など	大型サイン、エアーカーテン設備の天井内の吊もとは天井躯体へ確実に固定されているか	A・B		
	EXP.J 周 辺	外観で不具合が確認された場合、天井内のスラブカバー廻りに水漏れ、白華などの現象がないか	Ⓐ ・B		
	躯体の 状況	スラブ躯体、壁面躯体に顕著なクラック、ジャンカ、研りはないか ※吊りボルト廻りの躯体も確認	Ⓐ ・B		
設備 類	電気	バスダクト、ケーブルラックが躯体から吊りボルトで確実に取り付けられているか	Ⓐ ・B		
	機械	ダクト、ファンコイル、送風機が躯体から吊りボルトで確実に取り付けられているか	Ⓐ ・B		

1. 広場・通路の外観点検

点検場所 ※広場通路番号	天井形態・天井材 ■ 具体的な仕上を記入(カッコ内事例)	点検口 番号		点検結果
<input type="checkbox"/> 広場※天井 <input checked="" type="checkbox"/> 通路※天井	<input checked="" type="checkbox"/> 在来ボード [*] (石膏ボード、ケイカル板) <input type="checkbox"/> ルーバー (アルミ格子、型材) <input checked="" type="checkbox"/> 金属パネル (アルミ、スチール)	<input type="checkbox"/> 点検口-1	<input type="checkbox"/> 点検口-6	A: 不具合無 B: 不具合有
通路巾 6m	<input type="checkbox"/> ガラス (合わせガラス、フィルム貼)	<input type="checkbox"/> 点検口-2	<input type="checkbox"/> 点検口-7	
天井高 3m	<input type="checkbox"/> 直天 (RC 直、吹付け材)	<input type="checkbox"/> 点検口-3	<input type="checkbox"/> 点検口-8	
		<input checked="" type="checkbox"/> 点検口-4	<input type="checkbox"/> 点検口-9	
		<input type="checkbox"/> 点検口-5	<input type="checkbox"/> 点検口-10	

外観点検の写真、
または天井内点検を行った点検口まわりの外
観写真。

点検項目		点検結 果	備 考
外観	天井	天井材に破損などの不具合は見つからないか ※点検口廻りの健全性(ズレ、歪み)も確認	(A)・B
		照明、ガラリなど天井設置器具廻りに破損・隙間・ズレ 跡はないか	(A)・B
		シャッターボトム、天井枠周りに錆・凹み・曲がりはないか	(A)・B
		大型サイン、エアーカーテンなど、天井から吊られる設備 吊元に倒れ・曲がり・凹みはないか	(A)・B
		エキスパンション(EXP.J)カバーに凹み、外れ水漏れ、段 差はないか ※EXP.J がある場合、特に天井との取り合 い外観を確認します	A・B

2. 天井内点検

点検項目			点検結果	備考	
天井内目視	吊りボルト	約900mm前後の間隔で躯体からほぼ鉛直に設置されているか ※可能なら計測します	A・ Ⓔ	写真②,p.12 ■点検項目(その他)写真-4 吊りボルトが溶接により継ぎ足されている。	
		設備機器吊り材と緩衝していないか、共吊りになっていないか ※適度な間隔を確認します	Ⓐ ・B		
	下地材	野縁は野縁受け(クリップ状況)に、野縁受けは吊りボルトに(ネジ山状況)緊結されているか	Ⓐ ・B		
	壁とのクリアランス	天井材端部と周囲の壁に適度なクリアランス(隙間)がある場合、振れ止めが設置されているか	Ⓐ ・B		
①		②		⑤	
④		③		天井内写真 ⑤ 見上げスラブ	
天井内目視	シャッター垂れ壁	防火シャッター本体・防煙垂壁は天井躯体へ確実に固定されているか	A・B		
	大型サインなど	大型サイン、エアーカーテン設備の天井内の吊もとは天井躯体へ確実に固定されているか	A・B		
	EXP.J周辺	外観で不具合が確認された場合、天井内のスラブカバー廻りに水漏れ、白華などの現象がないか	Ⓐ ・B	(一部型枠残り)	
	躯体の状況	スラブ躯体、壁面躯体に顕著なクラック、ジャンカ、研りはないか ※吊りボルト廻りの躯体も確認	Ⓐ ・B		
設備類	電気	バスダクト、ケーブルラックが躯体から吊りボルトで確実に取り付けられているか	Ⓐ ・B		
	機械	ダクト、ファンコイル、送風機が躯体から吊りボルトで確実に取り付けられているか	Ⓐ ・B		

1. 広場・通路の外観点検

点検場所 ※広場通路番号	天井形態・天井材 ■具体的な仕上を記入(カッコ内事例)	点検口 番号		点検結果
<input type="checkbox"/> 広場※天井 <input checked="" type="checkbox"/> 通路※天井	<input checked="" type="checkbox"/> 在来ボード [*] (石膏ボード、ケイカル板) <input type="checkbox"/> ルーバー (アルミ格子、型材) <input checked="" type="checkbox"/> 金属パネル (アルミ、スチール)	<input type="checkbox"/> 点検口-1	<input type="checkbox"/> 点検口-6	A:不具合無 B:不具合有
	<input type="checkbox"/> ガラス (合わせガラス、フィルム貼)	<input type="checkbox"/> 点検口-2	<input type="checkbox"/> 点検口-7	
通路巾 6m	<input type="checkbox"/> 直天 (RC 直、吹付け材)	<input type="checkbox"/> 点検口-3	<input type="checkbox"/> 点検口-8	
天井高 3m		<input type="checkbox"/> 点検口-4	<input type="checkbox"/> 点検口-9	
		<input checked="" type="checkbox"/> 点検口-5	<input type="checkbox"/> 点検口-10	

外観点検の写真、
または天井内点検を行った点検口まわりの外
観写真。

点検項目		点検結 果	備 考
外観	天井	天井材に破損などの不具合は見つからないか ※点検口廻りの健全性(ズレ、歪み)も確認	Ⓐ・B
		照明、ガラリなど天井設置器具廻りに破損・隙間・ズレ 跡はないか	Ⓐ・B
		シャッターボトム、天井枠周りに錆・凹み・曲がりはないか	A・B
		大型サイン、エアーカーテンなど、天井から吊られる設備 吊元に倒れ・曲がり・凹みはないか	A・B
		エキスパンション(EXP.J)カバーに凹み、外れ水漏れ、段 差はないか ※EXP.J がある場合、特に天井との取り合 い外観を確認します	A・B

2. 天井内点検

点検項目			点検結果	備考
天井内目視	吊りボルト	約900mm前後の間隔で躯体からほぼ鉛直に設置されているか ※可能なら計測します	Ⓐ・B	
		設備機器吊り材と緩衝していないか、共吊りになっていないか ※適度な間隔を確認します	Ⓐ・B	
	下地材	野縁は野縁受け(クリップ状況)に、野縁受けは吊りボルトに(ネジ山状況)緊結されているか	Ⓐ・B	
	壁とのクリアランス	天井材端部と周囲の壁に適度なクリアランス(隙間)がある場合、振れ止めが設置されているか	A・B	

①	②	⑤
		
④	③	天井内写真 ⑤ 見上げスラブ 通路巾 
		

天井内目視	シャッター垂れ壁	防火シャッター本体・防煙垂壁は天井躯体へ確実に固定されているか	A・B	
	大型サインなど	大型サイン、エアーカーテン設備の天井内の吊もとは天井躯体へ確実に固定されているか	A・B	
	EXP.J周辺	外観で不具合が確認された場合、天井内のスラブカバー廻りに水漏れ、白華などの現象がないか	A・B	
	躯体の状況	スラブ躯体、壁面躯体に顕著なクラック、ジャンカ、研りはないか ※吊りボルト廻りの躯体も確認	Ⓐ・B	(一部スラブはつり跡)
設備類	電気	バスダクト、ケーブルラックが躯体から吊りボルトで確実に取り付けられているか	Ⓐ・B	
	機械	ダクト、ファンコイル、送風機が躯体から吊りボルトで確実に取り付けられているか	Ⓐ・B	

■点検項目(その他)

点検口-2

写真-1(天井内目視)



溶接による吊りボルトとアングルの
取り付けは劣化等で強度不足になり
易い

点検口-4

写真-2(天井内目視)



吊りボルトが溶接により継ぎ足され
ている。